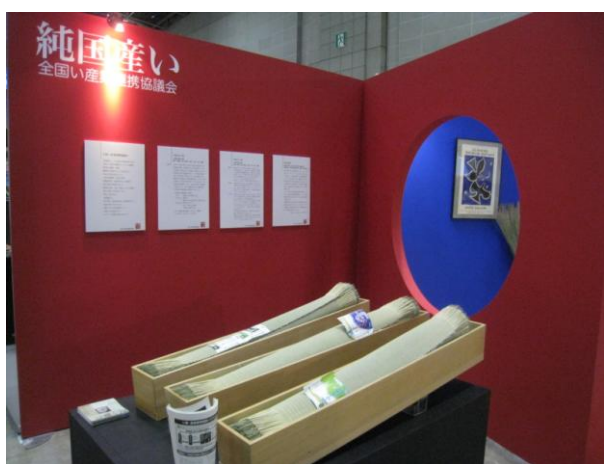


### 第33回ジャパンホームショー出展

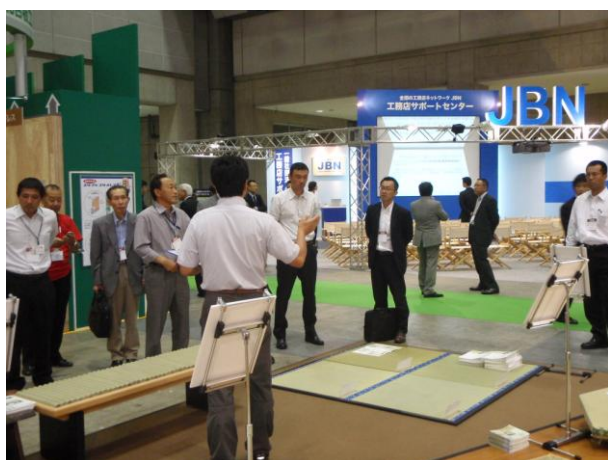
日本最大の住宅・建材の展示会「ジャパンホームショー」に「全国い産業連携協議会（当協議会も構成団体）」で出展してきました。

期間は、9月28日（水）～30日（金）までの3日間。今回は時期が早まったのと規模縮小のため約5万人の来場となりましたが、人の流れは途切れることなく、いぐさ・畳をPRするにはもってこいの機会でした。



展示物は5つの提携グループが手がける試作品の品々です。断熱性や抗菌性を持たせたもの。デザイン性を高めたもの。椅子にいぐさ・畳を組み込んだものなど、多彩な作品が展示されました。

各グループとも来場者（ほとんどが住宅関連事業者の人です）に関心を持ってもらうため、作品の特長をアピールするのに一生懸命です。また、生産者のナマの声を聞いた来場者は口々に「やっぱり国産がいい」と感想を語っていました。



多くの人が足を止めたのが、米井 仁さんの「手縫い」による畳表替えの実演です。全日畳（全日本畳事業協同組合）から推薦いただいた米井さんは、千葉県印西市で米井畳店を営み、2005年には技能グランプリ最優秀賞を受賞した凄腕の職人さんです。

まったく無駄がなく流れるような手捌きに、観客は、しばし時間を忘れて見入っていました。（表替えのPRも十分できたようです）



そして最終日には、いぐさ博士＝森田・北九州大准教授による「暮らしにおける畳の機能性」と題した講演も開催しました。こちらも、実証データを基にした、先生のテンポと歯切れのよい説明に、多くの人が聴き入っていました。

生産者、流通、畳店等、いわゆる川上～川下事業者の連携により出展したこのビッグイベント。いぐさ・畳がすばらしい素材・建材だと日本全国に発信できた3日間でした。

